

分倍河原駅周辺まちづくり協議会 第19回全体会議事録

- 1 日 時：令和5年8月4日（金）午後6時30分～8時20分
- 2 場 所：片町文化センター3階講堂
- 3 出席者：浅野副市長
まちづくり拠点整備推進本部 分倍河原駅周辺整備担当 職員5名
分倍河原共栄会 3名
片町二丁目自治会 3名
美好町三丁目自治会 2名
分梅第一自治会 2名
分梅高倉自治会 1名
野村不動産株式会社 2名
株式会社首都圏総合計画研究所（コンサルタント） 3名
- 4 資 料：分倍河原駅周辺まちづくり協議会第18回全体会議事録
資料 分倍河原駅周辺まちづくりの考え方
別紙1 分倍河原駅改良と周辺まちづくりについて（市民協働）

5 内 容

（○：出席者からの意見・質問、→：意見への回答等）

- ・会長から、駅前空間の整備を含めた「まちづくり全体の考え方」を改めて市と協議会とで共有するため、市に対し説明機会を要望したことにより、今回の開催に至ったことについて説明があった。
- ・会長から、令和5年7月12日（水）に開催された「自治会長と市長との懇談会」において行った代表質問の内容及び市の回答について、別紙1に基づき説明があった。
- ・会長から、代表質問に対する市の考えをまちづくり協議会においても共有するよう市に要望したことにより、今回の協議会における浅野副市長の出席に至ったことについて、説明があった。
- ・会長からの紹介を踏まえ、浅野副市長より挨拶があった。

（1）分倍河原駅周辺まちづくりの考え方について

- ・事務局から、資料に基づき「分倍河原駅周辺まちづくりの考え方」の説明を行った。
- まちづくり協議会から提出された「まちづくり提案書」を基に市は「まちづくり基本計画」を策定した。市は、調査設計を終え、次の段階として、基本設計に入るとのことである。停滞することなく、次に進めるよう協議会としての考え方を聞けるとよい。本日はじめて出席された方もいらっしゃるが、感想なども含めてご意見を賜りたい。（会長）
- 南北自由通路が再整備されると南北の通行がしやすくなると思う。南北自由通路、東西自由通路により南側や西側にどのように降りていくのか、今後明示してほしい。南側については、公園が改良される予定だが、一体的に整備されることを期待している。（野

村不動産株式会社)

- 南北自由通路、東西自由通路の降りる所の情報は気になる。特に東西自由通路がどのレベルでつながって、高低差を処理するのか気になる。北東側の溜まり空間については、イラスト等で分かってきた。(分倍河原共栄会)
- 南北自由通路、東西自由通路の降り口や南側の広場のイメージについては、機会が来たら基本設計を踏まえ、わかりやすい形で説明していきたい。(市)
- 駅前の整備を含めた駅周辺まちづくりについて、総合的に説明されたのはありがたい。会長が自治会長と市長の懇談会でお話しされたこともよくわかった。溜まり空間の高低差の説明があったが、バリアフリーを目指す中で、まだ階段が課題になっていると感じた。具体的には今の57.3mの角のところから、現在のホームのところまで90cm下がっている。そこから90cm上げるというのはできるのではないか。そこで支障があるのかどうかを考えたい。すり鉢状のイメージが階段なしでできないかと思っている。

もう1点は東西自由通路の自転車問題と踏切の閉鎖問題はセットではないかと思う。踏切の閉鎖は鉄道事業者が考えることだという説明だったが、協議会としてはセットで捉え、みんなが納得できるようにしていくべきではないか。(美好町三丁目自治会)
- 駅前の平場について、すり鉢状の整備が考えられないかというご意見について説明する。駅から東西自由通路や南北自由通路へ向かう通路はバリアフリーの関係から平坦である必要がある。こちらに勾配があると車いすの方の通行に支障が生じる。この通路の広さだが、道路構造令により有効幅員3.5mが必要となり、屋根をつける予定なので構造物を含めると4mくらいの幅員の通路が必要になってくる。そこに57.3mの所から擦りつけていくと、5%を超える勾配となり、バリアフリー基準を満たさないものになる。また、緊急車両の説明もしたが、広場部分はフラットでないと救護活動やイベント利用が不便となる懸念がある。以上の観点により、すり鉢状の整備は難しいと判断している。また、仮に商店街から南北自由通路に向かうスロープを溜まり空間の西側に沿ってつくと、勾配が8~9%となりこちらもバリアフリー基準を超えてしまう。(市)
- 踏切については、市と鉄道事業者が協議を行い検討すると伺っていることから、今後協議を進めていくことになる。(市)
- 前回の協議会で溜まり空間の予定地の範囲を明確にしてくださいという話をしたが、今日おおよその範囲が示された。駅周辺の整備はこのまちづくりで重要な部分である。ここが順調に進まない则この協議会も無駄になってしまう。今後用地買収をどのような形で計画しているのか、この場で説明できる範囲でよいのでぜひお願いしたい。(分梅第一自治会)
- 用地取得の話は、権利・財務等の話もあるので、この協議会では立ち入れないのが前提ではあるが、心配であるとの意見であった。お話しできる部分があるか市に確認したい。(会長)
- 用地の取得については、令和10年度の着工に向けて、権利者の皆様に事業の必要性についてご理解がいただけるよう丁寧に進めることに尽きると思う。そちらを努力していきたい。個別の交渉状況についてはプライバシーに関わることのため、この場ではお答えできないのでご了承願いたい。(市)

- 本日分かりやすいVRを見たことで、実感が湧いた。早くこうしたまちづくりを進めて次の世代にバトンタッチしたい。(分梅高倉自治会)
- ご意見を賜り、市も実施してよかったと感じる。引き続き分かりやすい説明に尽くしていきたい。(市)
- 広場に階段をつけてその上に通路を設けるという考え方だが、全体を広場として使えるような空間づくりをしてほしい。消防車が回転するという軌道の図があり、広場の真ん中に照明が1本あったが、ここの広場は大きな空間として位置づけた方が多目的に利用できる。階段をどこにもってくるのかということだが、駅の中で、京王線ホームに上がる階段や南武線ホームに向かう階段の段数を増減し、300坪という空間を全面的に広場としてつくるほうが良いと感じた。(片町二丁目自治会)
- 高低差の説明は、駅舎内部のことも踏まえたものだと思うが。(会長)
- 前回の協議会の後に市から高低差の資料をいただき、現在のホームの高さをふまえて私なりに本日の結論を導いた。(片町二丁目自治会)
- 貴重なご意見をいただいたので、市の方から説明をしてもらいたい。(会長)
- 鉄道事業者の敷地の中で高低差を処理すればよいのではないかというご意見についてだが、鉄道事業者もバリアフリーの法律に縛られており、駅舎の中の段差を階段だけで処理することは基本的に難しい。エレベーターで処理することも可能性としてはあるが、追加で費用がかかることは難しい。すべてのバリアフリーを考えると58.6mに合わせる現在の案がベストであると考えている。(市)
- 鉄道事業者の敷地の中で上げるということだが、面積も少ない中、1.3mの段差のためにエレベーターをつけるのがよいのかという判断になる。また、すり鉢にするというイメージはわかるが、実際マルシェをやろうという場合などでも坂道でやりづらくなってしまふことが想定される。市としてはバリアフリー基準や道路構造令を満たすとすると、階段処理がベストだということ、このような絵を示しているが、こういう問題点があるからこういう絵になっている、ということは引き続き丁寧に説明していきたい。さらに拡大すると、商店街の方を上げたらどうだということになるが、影響範囲が広がるとともに、建替えてをしてもらわなくてはいけなくなるので、話が大きくなってしまふ。必要最小限の中で最大の効果ということでこの絵を示していることをご理解いただきたい。(市)
- 2つの選択肢がある。1つは議論を続け、基本設計を止めるのか、もう1つは本日の説明で基本設計に入り、いただいた意見や進捗状況を確認しながら、マイナーな部分について直せるところがあったら直す方向で進むのか。どちらかを選択する時期にきていると思う。この協議会の方々に決めていただきたい。(会長)
- 本日は整備における考え方をご報告させていただき、皆様にもご理解いただけたと思うが、基本設計に入っても、引き続きタイミングをみてご報告等をさせていただく。(市)
- 協議会での検討を一区切りつけて設計段階に入ったらどうかと聞こえたが、それは早いと思う。特に高さの設定の問題は、広場や通路に面している方々の将来に関連がある。高さとその性格づけはしっかり検討して、こういう考え方なら設計に入ってもよいと

いうまとまりをつけるべきだと思う。これは商店街のまちづくりルールにも関連があり、壁面後退の問題、自転車の押し歩き等の問題もあわせてもう少し検討する必要がある。

(美好町三丁目自治会)

○ 駅舎内の動線の検討も必要だと思うが、南側改札口はこれまで検討したことがあるのか。(片町二丁目自治会)

→ 南側の改札については、南北自由通路に接続する形で改札口を上げていくような協議を鉄道事業者と進めている。現状は南側に臨時改札口がある。それを橋上化して上に持ってこようということで協議している。(市)

○ 駅舎内の乗り換えの動線は、今後検討するのか。(片町二丁目自治会)

→ 駅舎内の乗り換えの動線は、鉄道事業者が検討するものであるが、分倍河原駅の課題として時間帯によって人がかなり多くなるということがある。現在京王と接続している乗り換え跨線橋をもうひとつ作ることによって乗降客の分散を図り、安全性を確保していくことを検討していくと聞いている。(市)

○ 溜まり空間のイラストを見たときに、全部階段になるのかという印象を皆さん受け取ると思う。そうならないようにもう一工夫してほしい。例えば車いす用のスロープを設けるとか。ベンチもよいのだが、ベンチを置くと座り込んでゴミが散らかるのではないかという気もする。(分梅第一自治会)

→ 高さの変更は難しいようであるが、意見としては承知した。(会長)

→ 全て階段にはしないという協議会における意見について、実現は難しいということだろうか。(分梅第一自治会)

→ まちづくり協議会の場であるため、ここでイエスだ、ノーだというのではなく、意見は意見として賜りたい。先ほど基本設計に入るのは早いという意見があった。鉄道事業者も府中市も今後基本設計に入ることを予定しているが、基本設計とは協議図面をつくるということである。先ほど用地取得についての意見もあったが、協議図面をもって権利者の方々等に説明をする。その協議図面がないと話が進まないため、基本設計はやらせていただきたい。

また、階段について意見をいただいているところであるが、高さの問題については、まち側からの「このようにしたらどうか」といった意見について、「このような問題が生じてしまう」といった説明を絵などで皆様に理解していただけるように行う必要がある。

基本設計をやらないことには皆さんに具体的にどのくらい影響があるのかということがわからないので、本日も説明した内容を基本に設計をさせていただいて、各段階で資料を出すので、改めてご意見をいただきたい。はじめから「これもあれもダメだ」というわけではない。しかしながら、市も法令に縛られているので、できない場合は、なぜダメなのか説明させていただきたい。そのうえで、皆さんの意見がうまく反映できるのであれば反映するという方法でやってきたい。基本設計を進めないと鉄道事業者の方も何も決まらないし、府中市の道路の方も決まらないので、本日の考えを基本に設計を実施し、引き続き皆様と議論をしていきたい。本日もう1つ確認させてもらいたいのだが、基本計画に基づく内容ではあるが、溜まり空間、東西自由通路、南北自由通路をこの範囲でつくることについては、疑義がないということによろしいか。(市)

- 溜まり空間等をつくるということは、ずっと進めてきたことなので、同意できると思う。一方、溜まり空間や自由通路の建築基準法上の取り扱いははっきりさせてほしい。隣接する人たちにとっては価値が違う。そんなことを協議会で決めてきたのかと言われてしまう。そこははっきりさせて設計に入ってほしい。詳細については、図面をもとに協議があるだろうから、それは密にやっていただきたい。（美好町三丁目自治会）
- 溜まり空間、南北自由通路、東西自由通路は全て道路法上の道路とする予定である。南北自由通路、東西自由通路については建築指導課の判断になるが、一般論としては建築基準法上の道路ではないと考えている。（市）
- 南北自由通路が、建築基準法上の道路の場合と通路の場合では、そこに接している人の土地の使い方がぜんぜん違う。（美好町三丁目自治会）
- 議論になっている場所への対応については、個人的な話になるので個別に調整させていいただきたい。確かに溜まり空間の階段はなくせればよいが、そのためには敷地を広げることが必要になる。現在3万5千人近くの人が改札を通っているという集計がある。多くの人を通る動線の確保とまちとしての賑わいづくり、緊急車両の対応を総合的に市として判断する中で、用地として確保できる必要最小限の範囲で、求められる機能を実現するためにどうしたらよいのかを整理し、今回提案した。そこはご理解いただきたい。また、溜まり空間には、人が留まるという機能、賑わいづくりの機能などを持たせている。階段があること自体が全てマイナスではなく段差をいかにうまく使えるかを議論させていただければと思っている。（市）
- 接道がなくなってしまう死に地は存在するのか。（片町二丁目自治会）
- 一般論としてその土地が死んでしまうような土地は、補償していくことになる。（市）
- 土地を買収する中で、使い勝手ができない土地が出てくるようであれば、それは買収の対象として対応していただきたい。（片町二丁目自治会）
- 個人的な話になるので個別に調整させていただく話ではあるが、全国的な補償の基準に基づき対応していく。（市）
- 東西自由通路の床レベルの確認をしたい。（分倍河原共栄会）
- 東西自由通路の歩行者が歩くレベルは64.5mを想定している。（市）
- 東西自由通路に屋根をかけると高さが出てくる。線路の西側は一低層の住宅地だが日陰の影響はどのように考えているのか。（分倍河原共栄会）
- 基本設計の中でこれから検討する。（市）
- 本日説明のあった市の考え方に基づいて今後基本設計に入り、随時ご報告してもらい、基本設計の中でいろいろな問題が出てきたら、改良していくということだが、よろしいか。（会長）
- 全体の進行スケジュールがあると思うので、設計段階に入るという判断をされるのは、事業者としての市の責任もあると思うので進むのだろうと思う。ただ、本日議論となったような課題があることは認識していただきたい。また、協議は十分に密にやっていただきたいということを要望しておきたい。（美好町三丁目自治会）
- ご意見のとおり、議論になった課題を認識すること、協議を密にやっていくことは必要であると思う。ありがとうございました。（会長）

- 本日私の方から市の考え方について皆様と共有するため、全体のことから細かいことまでご説明した。この考え方をもって次のステージに進み、適宜協議会も開催してまたご報告をさせていただきたい。（市）
- 本日はお忙しい中ご参加いただきありがとうございました。今までは計画段階だが、事業段階に入り始めた。事業を進める段階では、各論の話になるが、なぜ整備が必要なのかという総論の徹底を図りながら進めていきたい。敷地や地形の条件など難しい地域であるが、やっとなんかここまで進んできた。今後も皆さんのお力をお借りしながら進めていきたいので、引き続きご協力をどうぞよろしくお願いいたします。（市）
- それでは、皆様からの意見として、市からは設計に進んだ後も随時進捗報告をしていただき、解決できる課題は話し合い解決していくこととしたい。本日はありがとうございました。（会長）

以上